

としょかん はらっぱ 4・5・6



「月へ行きたい」松岡 徹／文・絵 福音館書店 **53マ**

地球から月へ行くための大事な条件は「1：重力をふりきって地球からとびだせる。2：厳しい宇宙の環境から身を守る。3：宇宙でもすすむ力を作れる」の3つ。今のところ、この条件を満たして月まで行った乗り物はロケットだけです。パノラマページでロケットをくわしく解説するとともに、宇宙エレベーターやテレポーションなど、ユニークな方法も紹介してくれます。



「月へ アポロ11号のはるかなる旅」

ブライアン・フロッカ／作・絵 偕成社 **E**

1969年7月16日、アメリカのフロリダ州から、3人の宇宙飛行士を乗せたロケット「アポロ11号」が月に向けて発射されました。順々に切りはなされるロケットや無重力の船の中の様子など、人類が初めて月に降り立つまでを描きます。



今回のテーマは

「月のかたち」

毎日変わり続ける月のようすがわかる」

藤井 旭／監修・写真 ほるぷ出版

446ツ

月は毎日、見えるかたちが変わります。満月から次の満月まで、月の満ち欠けを大きな写真で紹介しします。



「お月さまのこよみ絵本」

きゅうれき 旧暦で行事をたのしむ」

千葉 望／文、阿部 伸二／絵 理論社 **Eア**

昔の日本のカレンダー＝こよみは、月を中心に作られていました。これを「旧暦」といいます。月が見えない新月が旧暦の一日で、次の新月までのおよそ29.5日が一月です。今の太陽中心の新暦（太陽暦）では、3月はまだ肌寒い日も多いですが、旧暦の3月は桃の花が満開になる時期で、ひなまつりは暖かい春の行事だったのです。

「ドリトル先生月へゆく」

ヒュー・ロフティング／作

岩波書店 **93口**

ドリトル先生と秘書のぼく、鳥のポリネシアとサル
のチーチーは、巨大な蛾の
背中に乗って月に着陸し

ました。吹き続ける風や自分の意志で動いているような木の枝、どこからか聞こえてくるふしぎな音楽などに、一行は不安な気持ちで月世界の探検を続けます。ある朝、チーチーがものすごく大きな足あとを見つけました。



「絵のない絵本」

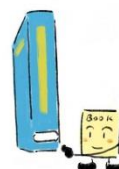
ハンス・クリスチャン・アンデルセン／著

福音館書店 **94ア**

月が貸しい若者の部屋を訪れます。「わたしの話すことを、絵にかいてみなさい。」「ほんとにすてきな絵本ができますよ。」ルーブル宮殿、ボンペイ、フランクフルト…。月は世界中をまわって見てきたことを画家である若者に語ってくれました。



□の中の記号は、本の背表紙についているラベル（請求記号）です。



新しい本をピックアップ

「こどものための防災教室 身の守りかたがわかる本」^{ぼうさい}「こどものための防災教室 災害食がわかる本」^{さいがい}

今泉 マユ子／著 理論社 **369イ**

みなさんの家では防災について何か準備をしていますか？
避難するときに必要なもの、災害が起きたときどう逃げればいいのかなど、イラストや写真を使ってわかりやすく書かれています。



「シャンシャンと上野動物園パンダ物語」

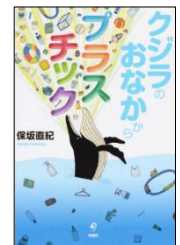
高橋 うらら／文、土居 利光／監修 フレーベル館 **489.5タ**

2017年6月に生まれたシャンシャンは、生まれて2年がすぎたら中国に帰ることになっています。日本でシャンシャンを見ることができるのもあと少し！この本を読んでシャンシャンの成長をふり返ったり、パンダについて学んでみたりしませんか。

「クジラのおなかからプラスチック」

保坂 直紀／著 旬報社 **519ホ**

プラスチックは自然の力では分解できません。そのため、食べた動物が消化できず、おなかにたまりすぎて死んでしまうといったことが世界中の海で起こっています。



「こども『折々のうた』100」

大岡 信／著、長谷川 権／監修 小学館 **911オオ**

詩人の大岡 信 さんが1979年から2007年まで朝日新聞に書き続けていたコラム「折々のうた」の中から、短歌と俳句を50ずつ選び、紹介しています。現代語訳とむずかしい言葉の解説もあるので、古代からの日本の詩歌を味わってみてください。

「なぞの扉をひらく」^{とびら}

日本児童文学者協会／編 偕成社 **913ナソ**

近所の池に出るといふ幽霊のうわさ、江戸で10才の女の子がさらわれた事件、入院しているはずの親友からの釣りの誘い、へんてこな事件ばかりひきうける探偵…。「なぞ」をテーマにしたお話が4つ入っています。あなたはどんな「なぞ」が好みですか？



図書館の利用案内

- ★ 1人10冊 2週間かりられます。
- ★ 午前9時から午後5時まで開いています。
(大久保図書館は木曜日、午後7時まで開いています)
- ★ お休みは、月曜日・図書整理日(第1金曜日)などです。
図書館カレンダーで確認してください。

大久保図書館 047-475-3213



本は10冊まで
2週間かりられます

